

インラインスケート教室 児童、基礎から習得

北 上



インラインスケートに挑戦する参加児童ら

合運動公園で始まった。市内外の児童らが参加し、インラインスケートの使用法とそれによって鍛えられる筋力などに理解を深めた。21日まで。初日は同市と花巻市などから児童の8人が参加。講師は全日本インラインスキー連盟の海野義範会長が務めた。

北上市体育協会主催の「インラインスケート」は20日、同市相去町の北上総合スポーツ教室「インライン」で、同日相去町の北上総合

海野会長は、インラインスケート靴の履き方から基本の進み方、止まり方を説明。重心を移動させる進み方の指導では「胴体をひねることで重心を移動させる。この動きで、外面ではなく、内

た。初めてインラインスケートを体験したという宮川侍門君(南小学校4年)は「バランスが難しい」、インラインスケートを始めて約半年という吉水真理奈さん(花巻市立石鳥谷小3年)は「止まり方が難しいが、うまく滑れると楽しい」と話していた。